

藤沢市総合教育会議 議事録

会議名	平成 27 年度第 7 回 総合教育会議
開催日	2016 年（平成 28 年）3 月 11 日（金）18:30～19:01
場 所	森谷産業旭ビル4階 第1会議室
出席者	(市側) 鈴木市長 (教育委員会) 小竹委員長、井上委員、中林委員、吉田委員 (関係職員) 教育次長、教育部長、教育総務課長

【議事録】

事務局

- ・ただいまから平成 27 年度第 7 回総合教育会議を開会いたします。会議開催の前に、傍聴される方で録画、録音、写真撮影等を行う方はいらっしゃいますか。(なし)
- ・開会に当たり、総合教育会議の座長であります鈴木市長より、ごあいさつをお願いします。

鈴木市長

- ・教育委員の皆さん、こんばんは。年度末の大変お忙しい中、第 7 回総合教育会議にご出席いただきまして、まことにありがとうございます。年度末になりまして、サクラの便りもちらほら聞こえております。今日も卒業式がありましたが、来月には入学式等があります。希望や不安と複雑な思いをする昨今ですけれども、子どもたちのより良い成長を願っていきたくて思っておりますので、よろしく願いいたします。
- ・私は 2 月 26 日から 2 期目の任期を迎えることになりました。今後ともよろしく願いしたいと

思っております。施政方針でもお示しましたように、少子超高齢化社会になってまいりる中で、特に子どもたちの教育、子育てをはじめ福祉を重要なテーマとして掲げているところでございます。子どもの貧困、いじめ、総合的な子育て施策など、子どもを取り巻く教育環境は多様化・複雑化しております。そういった中で、子どもたちの笑顔は未来に向けた社会の希望であり、藤沢の希望でもあります。こうしたことをしっかり意識しながら、児童生徒一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな対応を目指して市政運営を行ってまいりたいと考えております。

- ・ 昨年の6月から協議を重ねてまいりました教育大綱につきましても、学びを通したまちづくりを進めていきたいという願いとともに、パブリックコメントも出そろいました中で、皆さんにご協議をお願いしたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

事務局

- ・ 続いて、本日の資料の確認をいたします。(資料確認)
- ・ これからの会議の進行は、座長であります鈴木市長をお願いいたします。

鈴木市長

- ・ それでは、議題(1)議事録署名人について、事務局の説明をお願いします。

事務局

- ・ 本日の議事録署名人は、座長の鈴木市長と中林委員をお願いいたします。

鈴木市長

- ・ それでは、議事録署名人は中林委員と私ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

鈴木市長

- ・それでは、そのように決めさせていただきます。
- ・次に、議題（２）教育に関する大綱（素案）について、事務局の説明をお願いします。

事務局

（資料１参照）

- ・パブリックコメントの実施結果についてご説明いたします。パブリックコメントの実施は、１月２５日（月）から２月２５日（木）までの１カ月間で行い、３４人から３４件のご意見をいただきました。属性は男性１２名、女性２２名。市内在住が３２名、市外の在勤者２名。意見は、なるべく原文のまま記入しておりますが、目立ったものを若干申し上げたいと思います。
- ・まず、「少し抽象的過ぎるのではないか」とか「心身の体力であるとか、マルチパートナーシップの意味がわかりにくい」とか、「全体を通すと、たくさんのキーワードが入っていてわかりにくくなっている」とか、「藤沢市は核兵器廃絶平和都市宣言をやっているので、平和を意識できるようなものになるとよい」というようなご意見、それから「子ども一人ひとりの多様性を表現すべき」といったところです。
- ・また、３月４日の市議会総務常任委員会に報告をいたしまして、委員からのご意見は、今後のスケジュールということで、「２８年の初めにとらわれずにパブリックコメントをよく検討してはどうか」とか「パブリックコメントは３４件という意見が寄せられているが、子どもの視点からの意見がないように思う」といったところとか、「保護者の一人として違和感はないけれども、子どもの視点、保護者の意見を聞き取ってほしい。」「子どもにとってわかりやすいものにしてほしい」

というようなご意見がありました。以上です。

鈴木市長

- ・34人から34件の意見があり、関心の高さがあらわれていると思いますが、それぞれのご意見に対して、これから事務局は回答していくわけですけれども、委員の皆さんから総体的なご意見がありましたらお願いいたします。

中林委員

- ・たくさんのご意見をいただきましたが、「マルチパートナーシップ」という言葉がわかりづらいというのがあちこちに見受けられるので、子どもたちにもわかりやすいような注釈を入れるとか、小学生レベルでも読めるようなものにしていけたらいいのではないかと思います。

小竹委員

- ・「心身の体力」という言葉もわかりにくさとか、誤解をまねきやすいというコメントがあったけれども、心も体も強くして自分の心と体を育みながら豊かな心で他を尊重しというような意味合いだと思いますので、「心身の体力」というのは、もうちょっと具体的に少し長めの言葉でも、自らの心と体を育みとか、育成しながらとか、たくましさとか、何かやさしい言葉にかえてもよろしいのではないかと思います。

井上委員

- ・特に3つの点を感じました。①は「役割を持っています」ということに対してコメントがあった点、②は「マルチパートナーシップ」がわかりにくい。③は「心身の体力」という言葉は聞きなれないというのが気になりました。

- ・「役割を持っています」ということについての意見としては、藤沢市の教育振興基本計画は27年度からスタートしておりまして、それとの整合性を取ることが望ましいという中で、「役割を果たします」ということではいいかもしれませんが、逆に役割があるということは、役割を持っているというふうにとってもいいのかなと思いましたが、「役割を持っている」でもよろしいかと思いました。
- ・②の「マルチパートナーシップ」については、基本計画の中に注釈がついているので、この限られた字数の中で、その説明をする必要があるのかということでは、ちょっと難しいのかなと思っています。住民と行政、企業などが多様な主体やさまざまな関係を結んで、地域社会の公共性を支えていくのがマルチパートナーシップだろうと理解しております。
- ・③の「心身の体力」については、聞き慣れないといった意見があったかと思いますが、私は余り聞き慣れない言葉だからこそ、そういったものが目立つと感じ、それも1つかと思いました。

吉田委員

- ・1番目は、たくさんの皆さんが関心を持って細かい点まで読んでくださったということを感じました。そしてたくさんの意見が出されていて、いろいろな思いがあるということも再確認しました。私は今までの協議の中で、覚えやすい「大綱」という名前の大枠にふさわしい、教育の大きなねらいという印象を受けておりましたので、そのねらいのとおり、覚えやすく、わかりやすいと思っていましたけれども、今回のパブリックコメントを受けて、改めて丁寧な議論をさらに深めていく必要があるのではないかということを感じました。

- ・また、言葉というのは、感覚用語であって、自分の体験、経験を持っているものが言葉となってあらわれてくるということで、言葉の一言が十人十色に感ずることができるということも改めて実感しました。3つの「わ」が語呂合わせであるとおっしゃっている方もおりますけれども、3つの「わ」のくくりの中に、あらゆるものが入るということ、もう少しこの場で、こういうものも入るのではないかということの意見を述べ合っていくと、ご理解いただけるのかなと思います。この3つの「わ」が語呂合わせなのか、いろいろな面で押しつけがましい言葉があったのか、「平和」という言葉がないということが子どもの教育にとってどうなのかというような点も気になったところではありますが、今、感じているのは、とにかくパブリックコメントをしっかりと読み込んだ中で、私たちがこの間、協議してきたものをもう少し議論を深めて、言葉を精査していく必要があると思ったところです。

鈴木市長

- ・6回行ってきた経過もありまして、形式的には前文があって、3つにまとめていくということはこのとおりでいきたいと思っております。
- ・また、3つの「学びの環」「人の和」「元気の輪」についても、こういった形で集約して、なおかつわかりやすくしていきたいという気はあるのですが、いただいたご意見や委員の皆さんのご意見で、今日決めていくということではなく、もう一度良い表現、誤解を招かないようなことができたかと思っています。例えば「心身の体力を育み」というと、中にはインクルーシブ的なところが含まれているのかという見方もあるので、我々としてはすべてを含んだ中で言っているけれども、もう少し適切な言葉はないかとか、「マルチパートナーシップ」という言葉は、今、藤沢市

政の中で使っている言葉なので、そういったこととの連動性もあるわけですが、「教育」という中ではなじみがないので、それをあらわすのにもう少し補足をする必要があるのかなと思っています。そしていい意見もたくさんいただいておりますので、こういった意見を大事にしながら、そういった見方に寄り添いながら、限られた中ですが、少し時間をかけていきたいと思っていますが、いかがですか。

吉田委員

- ・本来、パブリックコメント一つひとつに、こういうふうと思うと言っていったら良いと思うのですが、なかなか時間も限られている中で、私が気になったところは、「学び」は個人が大事で、人の好奇心とか真理を探究したいという思いを自分自身でも貫いて行って、知識、教養を高めるためにあるのではないかとか、「教育」は個人の幸せのためにあるのではないかというご意見もありましたが、私自身、教育委員会の教育長という立場で、子どもたちには自分が学んだ知識を知恵に変えて、生きて働く力としていろいろなところに役立ててくださいということをお願いしているので、そういったところも汲み取っていただけたらと思っています。学んだことを知恵にするというようなところも「人の和」の中に入れていきたいと思っています。
- ・それから「理念」として良いと言ってくださる中に、抽象的であるという言葉もありましたが、やさしさ、幸せを裏打ちして、義務や責任感をより表面的に打ち出すべきではないかというご意見もありましたので、そういうあたりをどこに入るのかを考えていきたいと思っていますので、座長がおっしゃったように、もう少しパブリックコメントを3つの「わ」の中にどう具体的に入っていくのかという議論を集中した方が良いかと思います。

- ・私はこの6回の協議の中で3つの「わ」というのは、わかりやすく誰でも一度聞いたら口ずさめるだろうということは理解していますが、これが言葉になって出たときに、これだけの思いになってしまうということがよくわかりましたので、少しその辺の議論を重ねていったら良いと思います。

鈴木市長

- ・パブリックコメントについては、今月末から公表を予定しております。委員の皆さんからいただいた意見や考え方などを含めて、パブリックコメントに対する回答案を事務局で作成し、我々が確認した上で公表していきたいと考えております。今日は、一つひとつのパブリックコメントを確認していると時間が限られていることから、そういったことで進めていきたいと思っております。また、気がついたことがありましたら事務局に言っていただくということでもよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

- ・それでは、委員の皆さんからの意見を十分斟酌しながら、早急に回答案を作成し、委員の皆さんにお示ししていきたいと思っております。
- ・大綱については、この間、6回の会議を経ながら協議、調整を進めてまいりましたけれども、パブリックコメントについてはできるだけ加えていきたいと思っております。大綱の素案については、4月からの年度をまたぐ形になりますが、大綱の確定については、より慎重に臨んでいきたいと思っておりますが、こういうことでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

- ・それでは、議題(3) その他ですが、何かありますか。(なし)

- ・大綱の確定をすることが今の議題の中では一番大きいのですが、この大綱ができたときにどうやって活用していくか、あるいは認知していただけるのか、方法論も行っていきたいし、また、今、地域の中で起こっているいろいろな学びの課題、いじめや痛ましい事件が起きておりますけれども、こういったことの対応について、どのように考えていったらいいのかというようなことも行っていきたいと思っております。
- ・ほかに委員の皆さんから、こういったことを議題にしてほしいというようなことがあれば、言っていただきたいと思いますが、今日の段階ではよろしいですか。
- ・それでは、事務局にお返しします。

事務局

- ・パブリックコメントの回答については、今日具体的にいただきたいご意見等を踏まえてということと、全部のご議論をいただけませんでしたけれども、大綱の策定に当たっては、十分検討すべき内容のものがパブリックコメントの中にあるということでしたので、そういったところも踏まえて回答案については、事務局でつくらせていただいて、ご確認をいただく形にさせていただきます。
- ・大綱につきましても、年度をまたいでしまいますけれども、注目度の高いパブリックコメントが多く来ておりまして、慎重に議論していくというご意見もいただきましたので、事務局としてパブリックコメントの意見を合わせて案をつくり、次回の会議にお示しし、また、議論をしていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
- ・全体を通して何かございますか。(なし)

- ・ それでは、以上を持ちまして、平成27年度第7回総合教育会議を閉会いたします。
- ・ 次回の日程については改めてお知らせいたします。本日は、遅い時間帯からの会議、ありがとうございました。

(19時01分 閉会)

2016年(平成28年)5月11日

この会議の経過を記載し相違ないことを確認する。

藤 沢 市 長

鈴木 雅夫



藤沢市教育委員会委員

中林 奈美子

